

夏のボランティア体験事業

事前勉強会の様子

平成 29 年 5 月 24 日 (水) 15:10~
西粟倉中学校

ボランティア活動に関心のある人に、村内の社会福祉施設や地域のボランティアグループでの体験を通じて、社会福祉についての理解を深め、さまざまな出会いの中から、新しい発見や「もとに生きていく」視点について考える事業です。



毎年、福祉施設の参加が少なく、「障害者・高齢者福祉施設はどんな施設?」「どんなボランティアをするのかわからない」などの声を聞きます。そこで、今年は、村内の2つの施設の方の話を直接聞いてもらい、興味と関心を持ってもらうために、『事前勉強会』を行いました。

全校生徒の参加がありました。少しでも心に響いてくれたらうれしいです。



NPO法人 じゅ〜く プラスワーク
大橋 由尚さん



ゆうゆうハウス・ひだまり代表
本田 和美さん



「障害がある方の仕事を支援する」というテーマで話をして頂きました。
障害って何?・仕事って何?・支援って何?
つまりは、**みんながなりたい自分になれるように環境(人・物・事)を変えていくこと**が必要ではないかと言われていました。

障害があってもなくても、住みよい地域にしていく必要があると思います。

自分も楽しみ、楽しませることができるとを待っています。

高齢になってくると「当たり前ことができなくなる」。でも、西粟倉村で家族や地域の中で生活したいと思う人がほとんどです。それを叶えるためのサポートするのが、ゆうゆうハウスとひだまりです。

ボランティアに来てくれたら、「自分には何ができる?」「自分だったら何をしてほしいか?」を考えてボランティアをしてもらいたいです。ぜひ待っています。

各施設の方が熱心に話をされている中、中学生の生徒は真剣に話を聞いていました。この話を聞いて

少しでも障害者・高齢者施設の事に興味を持ってもらい、夏ボラに参加してもらえたらと思います。「村内にはこんな施設もあるんだ。」「自分にはこんなことができるんだ。」と夏ボラに参加しなくても「気づき」や「関心」を持ってもらえたら勉強会を開催した意味があると思います。施設のお二人からも「ひとりでも来てくれたらうれしいが、中学生と直接話ができてよかった。次回はもっと上手に話せるかな」と言われていました。今後もこのような福祉教育をしていけたらいいと思いました。

夏のボランティア体験事業

事前研修会の様子

平成29年7月11日(火) 16:10~
西栗倉中学校

今年も、2017夏のボランティア体験事業に村内外から高校生1名、中学生11名の生徒のみなさんが参加することになりました。

それに合わせて、7月11日(火)に西栗倉中学校にて「事前研修会」を行いました。ボランティアを行うための福祉教育として、「七つの心構え」や「夏ボラのノートの書き方」や「活動先での注意事項」などの話をしました。

その後は、自分が行く施設の人と日程の調整や持ってくる物などの細かい打ち合わせを各自で行いました。



今年は、この活動を行った後に、自分が感じた「発見」「気づき」「感動」したことを「事後レポート」

にして提出してもらう予定です。とても楽しみです！

みなさん、楽しみながら夏ボラを体験してくださいね！

